

あさひの日だまり

NO.11

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～校長講話がありました～

今年度の「挑戦」の行方をお話ししました

令和7年度が始まって3か月が過ぎようとしています。1年間の四分の一が早くも終わります。入学式に始まり運動会があり、夏を迎え水泳が始まっています。4年生は長野見学に行ってきました。来週には臨海学習があります。子どもたちが色々な活動を通して楽しい思い出を重ねていてくれることを心から願います。そして、何か「挑戦」し自信を深めてくれることを心から願います。

木曜日には校長講話がありました。今年も私のテーマは「挑戦」です。いつもいつも私事になってしまい申し訳ないのですが今回もそのことについてお話をしました。その内容を下に示しました目を通していただけたら幸いです。

私の一輪車の「挑戦」がその後どうなっているのかについてお話をします。

正直を言うと「もうどうせ乗れないし、練習も面倒だな」という気持ちが大きくなっていました。

これじゃあだめだなと思った校長先生はある決心をしました。

これを見て下さい。校長先生は奥さんをお願いをしてお金を出してもらってこの一輪車を買いました。お金があまりないのでネットで販売している大人用の一輪車の中で安い方のやつを買いました。

新しいやつはきっと乗りやすいだろうと思って買ったんです。

バラバラで送られてきたのでさっそく組み立てました。そして練習を始めました。

さあ乗りやすさはどうだったでしょうか。「きっと乗りやすいぞ、一気に乗れるようになっちゃうかもしれないぞ」と本気で思いながら初乗りをしてみました。

ところがです。世の中はそんなに甘くはありませんでした。残念なことに、今まで使っていた学校の昔からのやつと全然変わりませんでした。新しいやつに乗っても相変わらず一輪車に乗ることはできませんでした。

校長先生は「もうどうせ乗れないし、練習も面倒だな」という気持ちが大きくなっていました。そこへこの新しい一輪車が来たわけです。校長先生の気持ちは少し変わりました。「せっかく買ったんだから練習頑張ってみようか」という気持ちが出てきました。なかなか気が向かなくてさぼりがちだった練習を再開しました。このところ体育館で1時間から2時間くらい練習を頑張っています。

そうしたら校長先生の体の中でほんの少しずつですが変化が起こってきました。その感覚の変化は2つです。1つ目は、手すりから手を放して思い切ってこぎ出そうとするときに、私は体重が後ろにかかってしまうんです。そうすると絶対に乗れません。後ろに落ちてしまいます。そのことがわかりました。だからこぎ出した時に「これはだめだ!」ということがすぐにわかるようになりました。

2つ目です。体重が後ろすぎでもなく前すぎでもなくサドルというのはイスのことですが、そのサドルにしっかり体重が乗っている感覚が大事です。前でも後でもない真ん中という感じです。「乗れるってこんな感じが続くってことかな」という感じがわかってきたような気がしているんです。上手く体重が真ん中にあると、ほんの少しですがペダルをこげることがわかりました。

じゃあちょっと「挑戦」してみますね。乗れないんですけど頑張ってみます。

昔はこんな感じで全然乗れなかったんですね。今はこんな感じです。(少しだけ上達した姿に全校の皆さんが拍手を送ってくれました。頑張って!と声援を送ってくれました)



～今年初めての読み聞かせがありました～

ボランティアさんのお力で実現しています



25日(水)に今年度初めての読み聞かせがありました。初日は8名の皆さんが来校してくださいました。最初に会議室にお集まりいただきました。昨年度の冬に最後の読み聞かせがありましたので4ヶ月ぶりくらいの再会でした。懐かしい笑顔に出会えてうれしい気持ちになりました。

しばらくの間近況を報告し合いました。笑顔で会話が弾みました。そういう時間があると一層学校と地域の皆さんの距離が近づいていくように思われて楽しい時間になりました。

そして読み聞かせの時間になりましたので、皆さんは各教室へ移動していかれました。その後各教室の様子を見させてもらいました。きちんと列になって腰を下ろして聞き入っているクラス。思い思いのところに腰を下ろして聞き入っているクラス。広いスペースを使って涼しい感じで聴き入っているクラス。クラスごとの様子はそれぞれに違いましたがどのクラスも静かに読み手の方へ集中していました。「しん」とした空気感の中で本の世界が教室に広がっている感じがしました。朝のひと時素敵な時間が流れていました。ボランティアの皆さんのおかげで貴重な時間がいただけています。本当に感謝です。今年1年間どうぞよろしくお願いいたします。

～きらめき学級にクロメダカが来ました～

辰野高校からのプレゼント

きらめきの担任の小池先生からだいぶ以前になるのですが「校長先生、メダカを飼いたいと思うのですが手に入りますか？」と声をかけられました。今どきはお店へ行けばメダカを入手できるだろうと思いましたが、以前地域の方から日本固有種でもある貴重種のクロメダカを譲り受けたことを思いだし、そのルートで再びいただけないものかと考えました。そこで、その時仲介をして下さった方にお電話をしてみました。「辰野高校の生徒の皆さんが授業の一環でSDGsに関わった授業をしています。その中でメダカの飼育をしています。声をかけてみませんか」と教えていただきました。さっそく辰野高校の教頭先生にお電話をしました。そうすると、地域探究コースの生徒の皆さんがメダカの飼育に関わっておられるということがわかりました。ただ、そのルートで本校へメダカが届くにはだいぶ時間がかかりそうということがわかりました。それでも、そうやって辰野高校と関係が結べて、活動が広がるとしたらそんなに素敵なことはないと思いましたので小池先生とも相談して時の来るのを待ちました。

しばらくして辰野高校から26日(木)に担当の先生と生徒さんとメダカが本校に来てくれるということが決まりました。写真は当日の様子です。辰野高校の3名の生徒の皆さんが、メダカを取り巻く現在の自然界の様子をお話ししてくださいました。そして、具体的なメダカの飼育方法に関して説明してくださいました。私は今回初めてオスとメスの見分け方を勉強しました。高校生のしっかりした口調での説明に感心させられました。「困ったことがあったら連絡をしてもいいですか？」とたずねたら、「ハイ」とお返事をいただけ、本校の児童もすごうれしそうでした。

今朝登校して一番最初にきらめきのクラスへ行きました。メダカは元気に水槽を泳ぎ回っていました。その姿はこれからこの教室へ来る子どもたちをウキウキしながら待ち構えているかのように見えました。

担任の先生からどうやらもう卵を産んだらしいです。というお話を聞きました。もしメダカが増えてきたら少し譲り受けてもう一回飼育に挑戦してみようかと思えます。

